



市内高等学校



下松高等学校

めざせ100枚 UMOUプロジェクト!! ~回収から学ぶ赤い羽根とSDGs~

県共同募金・下松市共同募金会と下松商業開発、本校の共同企画でUMOU回収プロジェクトを市内の商業施設で実施しました。生徒が回収受付をし、オリジナルの缶バッジづくりなどを体験してもらい、羽毛循環についてお伝えできました。



下松市社会福祉協議会 地域福祉係
中村 祐斗さん

羽毛が再生資源であることを広く知っていたために高校と協力を何かができないか、そんな思いを下松高校の皆さんに叶えていただき、カタチにできました。生徒の実行力が存分に発揮された素晴らしい機会になりました。



自分自身も羽毛がリサイクルできると初めて知り、それを地域の方に知ってもらえて、SDGsの輪が広がりました。これからもこうした活動を通して地域を盛り上げたいです。(3年生生徒)

華陵高等学校

世界とつながる華陵 ~オーストラリア姉妹校とホームステイ交流再開!

華陵高校はオーストラリアの姉妹校と相互にホームステイして交流を深めています。令和5年度は夏に姉妹校に行き、冬には姉妹校の生徒が華陵高校で授業に参加しました。

華陵高校 教諭
光田 広美さん

オーストラリアの姉妹校とのホームステイ交流が再開し喜んでいます。加えて、オンラインでも交流を重ねて、生徒がお互いの言語や文化を学ぶ機会を積極的に設けています。



夏休みにオーストラリアホームステイに参加しました。試行錯誤しながら英語がだんだんしゃべれるようになるのを日々実感し、現地ではかけがえのない友達がたくさんできました。(3年生生徒)

下松工業高等学校

下工祭&くだまつものづくり企業フェア ~ものづくりで築く協創の未来~

下工祭の2日目に、市産業振興課、地元企業と連携し、くだまつものづくり企業フェアを開催しました。企業フェアの目的は、高校生市内就職促進、企業の人材確保支援で、双方にとって有益な活動となりました。

下松工業高等学校 教諭
木原 宏樹さん

今年度下工祭は、コロナ禍前とほぼ同様の形で実施することができ、多くの来校者がありました。地元企業の方々には、生徒に卒業後の進路を考えるよい機会を与えていただき、大変感謝しています。



コロナの影響で様々な活動を制限されてきましたが、今年度は一般公開もでき、高校生活最後の文化祭を楽しむことができました。模擬店や企業フェアなどで盛り上がり、よい思い出になりました。(3年生生徒)

令和5年度 下松市の地域連携教育推進構想

下松市がめざす児童生徒像

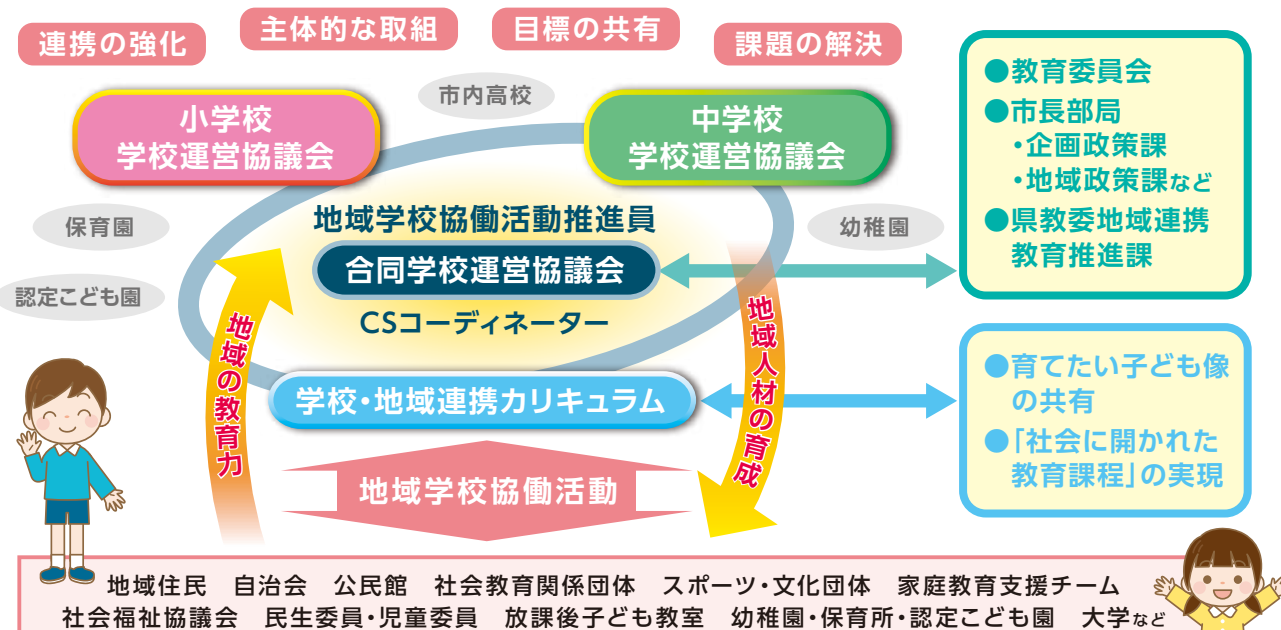
ふるさとに誇りを持ち、たくましく未来を切り拓く、心豊かな下松っ子

地域連携教育推進テーマ

~「くだまつ愛」で子どもと大人が学びでつながり
子どもが地域のよさを実感する 下松市の地域連携教育~



地域とともにある学校づくり 学校を核とした地域づくり



令和5年度 推進課題

1. 児童生徒、教職員、地域・保護者の参画・当事者意識のさらなる向上
2. コミュニティ・スクールの取組と地域学校協働活動等との一体的な推進

子どもが主役!

下松市地域連携教育フォーラムを開催しました

市内小中学校に、コミュニティ・スクールが導入され8年目を迎えました。3年間のコロナ禍の中でも、市内各学校では、可能な取組を進め、取組が充実してきました。これまでの取組の成果と下松市の地域連携教育の未来の姿を共有する場として、8月4日、スターピアくだまつ大ホールで、子どもが主役になる地域連携教育フォーラムを開催しました。市内小中学校の先生方、学校運営協議会委員・地域関係者、高等学校関係者に多数参加いただきました。



下松市の地域連携教育

『くだまつ愛』で、子どもと大人が学びでつながり
子どもが地域のよさを実感する 下松市の地域連携教育



2024年3月
下松市教育委員会